

平成31年度予算公表

給食費に続き、保育料も無料に！

子育て応援のまちづくりをさらに進めます

一般会計26億3,000万円の予算を編成

平成31年度当初予算が3月定例議会で可決されました。一般会計の予算総額は26億3,000万円で、前年度に対して1億3,200万円、5.3%の増額となりました。

特別会計の予算総額は、3会計合わせて14億3,250万円で、前年度に対して1,440万円、1.0%の増額となりました。公営企業の水道事業会計については下記のとおりです。

限られた財源の中でも「安全・安心」と「子育て支援」に重点配分し、役場庁舎とわくわく西の城体育館の耐震化工事や、国の制度に先駆けた保育料無償化などの予算を計上しました。保育料は半年前倒しの4月から無償化し、給食費も無料、所得制限も撤廃するなど、町独自の支援を上乘せします。

ここでは、新年度の予算と主要事業についてお知らせします。

歳入

主な歳入としては、町税が6億8,536万1千円で、全ての税目で増収を見込み、前年度に比べ1.3%、890万円の増となりました。

地方交付税は国から示された地方財政計画を基に、前年度同額の8億9,400万円を見込みました。町税と地方交付税で歳入総額

の6割を占めています。

国県支出金は3億7,8

58万1千円で、耐震改修事業などに国庫補助制度を活用するため、前年度に比べ13.8%の増となりました。繰入金のうち財政調整基金からの繰入れは、財源対策として115.9%

増の2億3,953万6千円を計上しました。町債は23.8%減の7,590万円で、臨時財政対策債など

歳出

の借入れをします。また、子育て支援をさらに進めるため、保育料を国の制度化に先駆けて半年前倒しの4月から無償化するとともに、町独自の追加支援として、給食費も無料とし所得制限も撤廃します。

新年度の主要事業は、役場庁舎耐震改修事業、わくわく西の城体育館耐震改修事業、町道神宿松崎線測量調査・用地取得事業、町道毛成堀籠線改良設計事業などで、投資的経費は総額で約3億2,600万円を上しました。

子育て支援に関しては、学校給食費の全額助成、子育て支援費給付金、高校生までの医療費助成などについて、継続して実施するための予算を計上しました。その他の新規・重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。町債の借入残高は、平成

31年度末で約20億4,500万円となる見込みで、町民一人あたりになると約33万円となります。

水道事業会計

()内は前年度比

収益的	収入	2億1,694万1千円 (▲2.1%)
	支出	1億8,643万9千円 (▲7.8%)
資本的	収入	1万1千円 (0.0%)
	支出	4,994万8千円 (14.1%)

特別会計

()内は前年度比

国民健康保険	7億7,700万円 (▲2.9%)
後期高齢者医療	8,050万円 (3.1%)
介護保険	5億7,500万円 (6.5%)
合計	14億3,250万円 (1.0%)